

第 28 期

計 算 書 類

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月 31日

住所 東京都渋谷区富ヶ谷1丁目 16 番4号

社名 株式会社 放送衛星システム

貸借対照表

〔2021年3月31日現在〕

株式会社 放送衛星システム

(単位 千円)

<資産の部>		<負債の部>	
科目	金額	科目	金額
流動資産	18,300,729	流動負債	6,087,681
現金及び預金	16,557,541	1年以内に返済する 予定の長期借入金	5,120,000
売掛金	1,124,111	未払金	682,281
貯蔵品	447,025	未払法人税等	132,438
前払費用	173,792	未払事業所税	2,267
その他	59	未払費用	150,408
貸倒引当金	△ 1,800	その他	284
固定資産	48,114,967	固定負債	27,637,666
有形固定資産	47,340,865	長期借入金	25,800,000
建物	2,763,509	預り保証金	1,009,389
建物附属設備	2,350,263	退職給付引当金	102,923
構築物	1,963,131	金利スワップ債務	548,088
放送衛星	79,572,643	資産除去債務	177,265
機械及び装置	26,867,872		
工具器具備品	2,292,473	負債合計	33,725,347
減価償却累計額	△ 69,680,313	<純資産の部>	
土地	1,103,229	科目	金額
建設仮勘定	108,055	株主資本	33,070,612
		資本金	15,000,000
無形固定資産	53,306	利益剰余金	18,070,612
電話加入権	3,046	利益準備金	471,000
ソフトウェア	50,183	その他利益剰余金	17,599,612
その他	76	繰越利益剰余金	17,599,612
投資その他の資産	720,794	評価・換算差額等	△ 380,263
敷金	30,310	繰延ヘッジ損益	△ 380,263
長期前払費用	243,509		
繰延税金資産	446,975	純資産合計	32,690,348
資産合計	66,415,696	負債及び純資産合計	66,415,696

損 益 計 算 書

〔 自 2020年4月 1日 〕
〔 至 2021年3月31日 〕

株式会社 放送衛星システム

(単位 千円)

科 目	金 額	
売上高		
基幹放送局提供収入	8,520,159	
アップリンク・EPG受託収入	4,226,937	
管制・運用業務受託収入	80,000	12,827,097
売上原価		9,891,836
売上総利益金額		2,935,260
販売費及び一般管理費		612,737
営業利益金額		2,322,523
営業外収益		
受取利息	170	
雑収入	570	740
営業外費用		
支払利息	576,671	
支払手数料	4,000	
雑損失	575	581,246
経常利益金額		1,742,017
税引前当期純利益金額		1,742,017
法人税、住民税及び事業税	507,571	
法人税等調整額	30,106	537,677
当期純利益金額		1,204,339

株主資本等変動計算書

〔 自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日 〕

株式会社 放送衛星システム

(単位 千円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計		
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		繰延ヘッジ損益	
当期首残高	15,000,000	420,000	16,956,272	17,376,272	32,376,272	△ 283,562	32,092,710
当期変動額							
剰余金の配当			△ 510,000	△ 510,000	△ 510,000		△ 510,000
利益準備金の積立		51,000	△ 51,000	-	-		-
当期純利益			1,204,339	1,204,339	1,204,339		1,204,339
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 96,701	△ 96,701
当期変動額合計	-	51,000	643,339	694,339	694,339	△ 96,701	597,638
当期末残高	15,000,000	471,000	17,599,612	18,070,612	33,070,612	△ 380,263	32,690,348

個 別 注 記 表

（ 自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月 31日 ）

株式会社 放送衛星システム

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①デリバティブ等

原則として時価法によっております。

当社が行っているデリバティブ取引は、ヘッジを目的として実行したものであります。

②たな卸資産

貯蔵品：総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産：定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物……………	17～38年
建物附属設備…	8～18年
構築物……………	10～60年
放送衛星………	13年
機械及び装置…	6～9年
工具器具備品…	3～15年

②無形固定資産：定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権につきましては、過去の貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②退職給付引当金

将来の退職金の支払いに備えるため、退職手当支給規程に基づく期末自己都合要支給額を引当計上しております。

(4) 放送衛星等の調達に要する借入資本の利息の処理方法

稼動前の期間に属するものは、取得原価に算入しております。なお、当事業年度に建設仮勘定に計上した支払利息は109,878千円となります。

(5) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法：繰延ヘッジ処理によっております。なお、金利スワップのうち特例処理の要件を満たしている取引につきましては、特例処理を採用することとしております。また、為替予約が付されている外貨建金銭債権債務につきましては、振当処理を行っております。

ヘッジ手段とヘッジ対象：当事業年度にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は次のとおりであります。

ヘッジ手段……金利スワップ、為替予約

ヘッジ対象……借入金、外貨建予定取引

ヘッジ方針：金利変動リスク及び為替相場変動リスクの低減のため、対象資産、対象負債の範囲内でヘッジを行っております。

なお、ヘッジ取引の実行に際しましては取締役会での承認を受けております。

ヘッジ有効性評価の方法：金利スワップについては、ヘッジ対象のキャッシュフロー変動の累計と、ヘッジ手段のキャッシュフロー変動の累計を比較し、その変動額の比率によって有効性を判断しております。また、為替予約については、ヘッジ手段とヘッジ対象に関する重要な条件が同一であることを確認し、ヘッジの有効性を判断しております。

(6) 消費税等の会計処理方法

税抜き方式を採用しております。

(7) 千円単位（未満切捨て）としております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保付債務

(千円)

担保に供している資産		担保権によって担保されている債務	
種 類	期末残高	内 容	期末残高
売掛金	640,909	長期借入金	30,920,000

*長期借入金には、1年以内に返済する予定の長期借入金を含みます。

*上記以外に人工衛星保険契約に基づく保険金支払請求権を担保に供しております。

(2) 関係会社に対する金銭債権債務

(千円)

	売掛金	未収入金	未払金
日本放送協会	150,146	37	13,639
㈱WOWOW	181,402	-	-

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

関係会社との取引高は次のとおりであります。

(千円)

	売上高	その他営業取引高
日本放送協会	1,637,964	414,521
㈱WOWOW	1,684,796	24,463

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 事業年度の末日における発行済株式の種類及び数

発行済株式 普通株式 300,000 株

(2) 事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

- ・ 配当金の総額 510,000 千円
- ・ 配当の原資 利益剰余金
- ・ 1株当たりの配当金額 1,700 円

(3) 事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

2021年6月25日開催の第28回定時株主総会に、次のとおり付議する予定であります。

・ 配当金の総額	300,000 千円
・ 配当の原資	利益剰余金
・ 1株当たりの配当金額	1,000 円

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

未払費用	20,653 千円
金利スワップ債務	167,824 千円
退職給付引当金	31,515 千円
シンジケートローン組成手数料	110,147 千円
減損損失	15,630 千円
減価償却超過額	52,831 千円
資産除去債務	54,278 千円
未払事業税	19,538 千円
その他	4,657 千円
繰延税金資産合計	<u>477,078 千円</u>

(繰延税金負債)

資産除去債務に対応する除去費用	<u>30,103 千円</u>
繰延税金負債合計	<u>30,103 千円</u>
繰延税金資産の純額	<u>446,975 千円</u>

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な銀行預金等の資金運用を原則とし、長期資金運用方針は役員会付議事項としております。また、資金調達については銀行借入による方針です。デリバティブは、借入金の金利変動リスク、外貨建予定取引の為替相場変動リスクを回避するために利用し、投機的な取引は行いません。

② 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されています。売掛金回収状況については月次で売掛金回収報告により管理しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

(千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
① 現金及び預金	16,557,541	16,557,541	-
② 売掛金	1,124,111	1,124,111	-
③ 未払金	682,281	682,281	-
④ 未払法人税等	132,438	132,438	-
⑤ 長期借入金	30,920,000	30,920,000	-
⑥ デリバティブ取引	△548,088	△548,088	-

(注1) 長期借入金には、1年以内に返済する予定の長期借入金を含みます。

(注2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については△を付して示しております。

(注3) 預り保証金（貸借対照表計上額1,009,389千円）は契約の解約時期の見積もりが困難であり、将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記表には含めておりません。

① 現金及び預金、②売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

③ 未払金及び④未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑤ 長期借入金

長期借入金の時価については、変動金利の借入であるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。なお、金利変動リスクに対しては金利スワップによるヘッジを実施しておりますが、特例処理ではないため別途、デリバティブ取引の時価評価の対象としております。

⑥ デリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないもの：該当するものはありません。

ヘッジ会計が適用されているもの：決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は、次のとおりです。

(千円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等		時価	当該時価の算定方法
				うち1年超		
原則的処理方法	金利スワップ取引 支払固定・受取変動	長期借入金	26,420,000	22,800,000	△548,088	取引先金融機関から提示された価格等によっている。

7. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 取引の内容

親会社及び法人主要株主等

(千円)

	会社等の名称	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関係内容	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の 関係会社	日本放送協会	放送業	被所有 直接 49.9%	兼任役員 4 人 放送衛星の利用等	売上高 基幹放送局提供収入 アップリンク・EPG 収入	1,108,404 529,560	売掛金	150,146
	株WOWOW	放送業	被所有 直接 19.6%	出向役員 1 人 兼任役員 3 人 放送衛星の利用等	売上高 基幹放送局提供収入 アップリンク・EPG 収入	1,140,704 544,092	売掛金	181,402

(2) 取引条件の決定方針

親会社及び法人主要株主等

売上高の各項目につきましては、設備の取得経費及び運用経費他を勘案し、一般的取引条件を参考に決定しております。

8. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たりの純資産額 108,967円82銭
(2) 1株当たりの当期純利益金額 4,014円46銭

9. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。